

うれしの市議会だより

ureshino city council

2018 Vol.49

平成30年4月27日発行 発行 嬉野市議会 / 編集 議会広報編集特別委員会 〒849-1492 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769 TEL 0954(66)9127 FAX 0954(66)2887

特集

市議会が新たに始動！

よくある市議会 Q&A

市議会どうなってるの？

平成30年度予算が決まる…………… P4

議案の慎重審議…………… P6

平成29年度補正予算を審議…………… P11

議会とはどんなことをするの？…………… P12

活発な一般質問…………… P14

新しい委員会構成…………… P24

新連載 ときの人…………… P26

市内保育園の元気な子どもたち

に始動!

臨時議会

議長・副議長選挙を実施

平成30年1月21日。定数18名から2名減の16名という形で行われた市議会議員選挙によって、現職11名、新人5名による新たな議会が誕生しました。それに伴い、2月5日に開催された臨時議会で議長・副議長及び各常任委員会と議会運営委員会の委員構成が決まり、新しい嬉野市議会が動き出しました。

議長に



田中政司氏

58歳

副議長に



山下芳郎氏

68歳

総務企画常任委員会

総務課、財政課、企画政策課、税務収納課、市民協働推進課、会計課、うれしの温泉観光課、議会事務局、監査委員事務局を担当します。

委員長 山口忠孝
副委員長 森田明彦
委員 山下芳郎
" 芦塚典子
" 宮崎一徳



山口忠孝



森田明彦



山下芳郎



芦塚典子



宮崎一徳

市議会が新たな



諸上 栄大



梶原 睦也



増田 朝子



諸井 義人



山口 政人



山口 虎太郎



田中 政司



川内 聖二



山口 卓也



辻 浩一



宮崎 良平

文教福祉常任委員会

福祉課、市民課、子育て支援課、健康づくり課、教育委員会、文化スポーツ振興課を担当します。

委員長 増田朝子
副委員長 山口政人
委員 梶原睦也
諸井義人
諸上栄大

産業建設常任委員会

建設・新幹線課、水道課、農林課、うれしの茶振興課、環境下水道課、農業委員会事務局を担当します。

委員長 川内聖二
副委員長 宮崎良平
委員 田中政司
辻浩一
山口虎太郎
山口卓也

議会運営委員会

議会の諮問に関わることや議会運営について担当します。

委員長

辻 浩一

副委員長

梶原 睦也

委員

山口 忠孝

森田 明彦

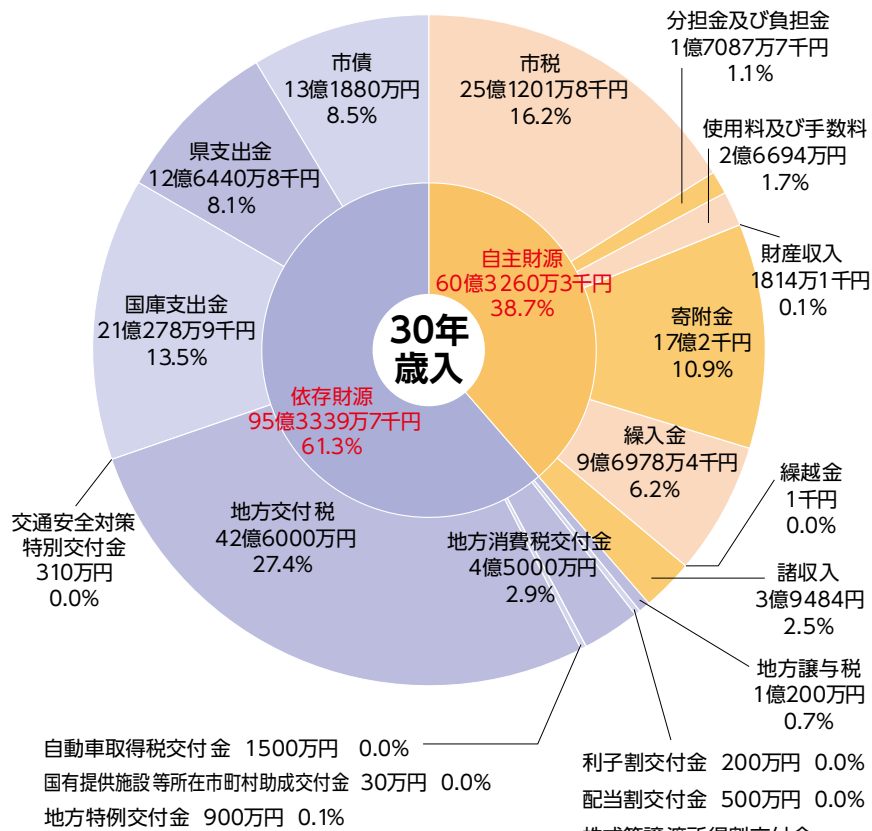
増田 朝子

川内 聖二

予算

155億6,600万円 対前年比0.2%減

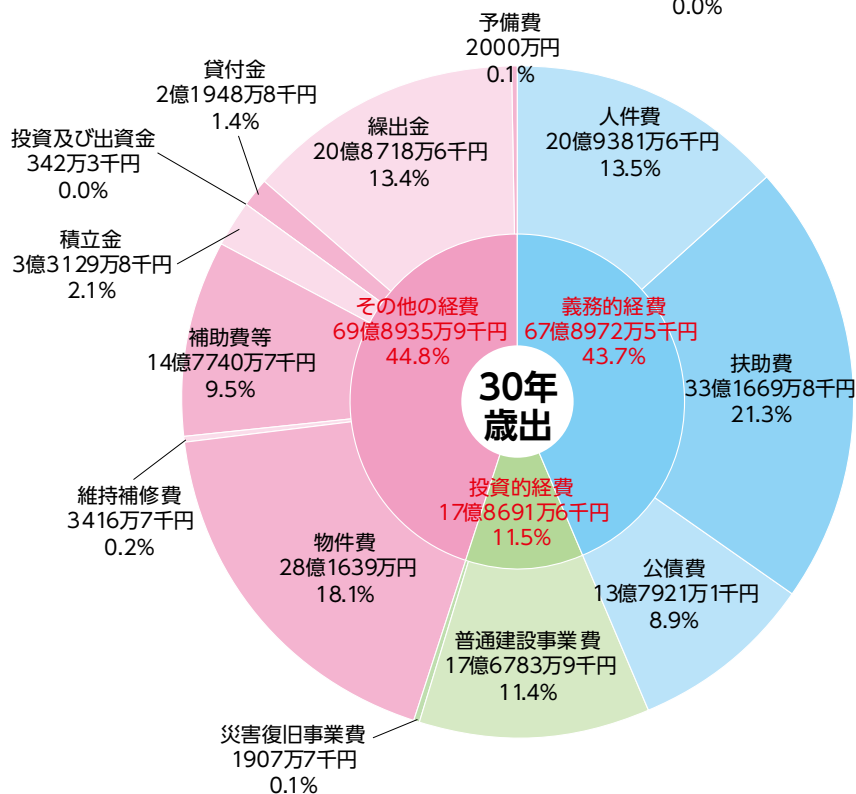
平成30年第一回定例会が、3月2日に招集され、3月23日まで、22日間の日程で開催されました。平成30年度一般会計予算をはじめ、国民健康保険など9件の特別会計、嬉野市地域コミュニティセンター条例など2条例の制定、嬉野市地域福祉基金条例の二部改正など7件の条例改正、市道の認定1件、平成29年度一般会計・特別会計の補正予算など全42議案、副市長はじめ4名の人事案件、議員発議2件を慎重審議しました。賛否表は（P10）



一般会計

平成30年度の一般会計予算は、市長選挙の実施により義務的経費を中心とした骨格予算となりました。155億6600万円と平成29年度当初予算と比較して0.2%削減で3600万円減額の予算となっています。

理由としては、ふるさ



歳入

と応援寄附金が平成29年度当初見込み10億円であったが、決算額は26億円となり、その実績も踏まえ、今年度歳入見込みを17億円としたことが、骨格予算ではありますが、僅かな減額になった要因です。

歳入では、市税がほぼ横ばいの25億1201万円、

地方交付税は2.1%削減の42億6000万円と見込んでいます。

今回の予算が骨格予算ということで、繰入金、市債などは大きな減額となっていますが、6月定例会において、政策的予算の肉付けとして増額になると思われ

歳入全体を見れば、自主財源（市税や使用料、

3月 定例会

平成30年度 一般会計は

骨格

手数料など）は寄附金の伸びが見込まれ、昨年より5.3割増の6億3,260万円となつていますが、歳入全体に占める割合は2.0割増の38.7割であり、依然として依存財源（地方交付税や国・県の支出金、市債）に頼らなければならぬ厳しい財政運営であります。財政安定化をはかる為には市民所得が向上するような対策を早急に取り組まなければなりません。

歳出

歳出においては、人件費などの義務的経費と継続事業の予算が主であり、6月定例会において、肉付予算として事業が追加されることとなります。全体の比率としては、民生費（社会福祉費、老人福祉費、生活保護費）の占める割合が、今年度は35.3割となっております。

貯金と借金

30年度の市債（借金）の総額は29年度末見込みで117億3,552万円、30年度当初では

117億8,103万円となつており、6月定例会で肉付けの補正予算が計上されれば、さらに増加することが予想されます。

また、基金（貯金）残高は29年度末の見込みで71億2,844万円、30年度当初で64億6,436万円と大幅な減少となり厳しい

財政状況が伺えます。繰越金や交付税の決定により若干の積み増しが期待できます。

国民健康保険においては平成22年より赤字が続いて

特別会計

国民健康保険

おり、段階的な税制改正を行ったにもかかわらず累積赤字の解消には至っていませんでしたが、国保制度の変更により今年4月から国民健康保険を県統化するために、嬉野市地域福祉基金3億9,893万円を取り崩し、累積赤字を解消することになっていきます。

その他の 特別会計

農業集落排水事業は使料収入5,672万円となつていますが、支出の管理費1億5,600万円を賄いきれていません。

公共下水道事業及び浄化槽事業と共に事業の公平性を期すために、料金改定を早めに打ちだし、市民の理解を得ることが重要です。

嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業は平成34年の開業に向けて、総事業費3億2,600万円のうち、今年度予算1億円を加え21億7,600万円となつており、残り約8億5,000万円を有効に活用し、後世に誇れるような駅前整備にしなければなりません。

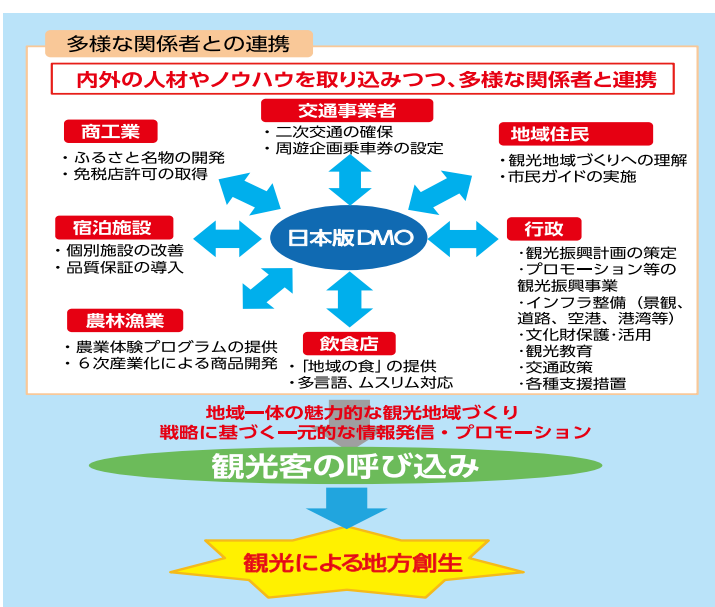
会計名	平成30年度 当初予算	平成29年度 当初予算	増減額	増減率		
一般会計	155億6600万円	156億200万円	△3600万円	△0.2%		
特別会計	国民健康保険	34億1279万円	44億7258万円	△10億5979万円	△23.7%	
	後期高齢者医療	3億5051万円	3億3364万円	1686万円	5.1%	
	農業集落排水	3億7045万円	3億6142万円	903万円	2.5%	
	公共下水道事業費	4億7760万円	3億9972万円	7787万円	19.5%	
	浄化槽事業費	1億5914万円	1億3705万円	2208万円	16.1%	
	第七士地区画整理事業費	7100万円	9842万円	△2741万円	△27.9%	
	第八士地区画整理事業費	4391万円	7867万円	△3476万円	△44.2%	
	嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費	2億2066万円	2億3186万円	△1120万円	△4.8%	
	水道事業	収益的収入	5億9840万円	6億5168万円	△5328万円	△8.2%
		収益的支出	6億5485万円	6億3753万円	1732万円	2.7%
資本的収入		1億1209万円	1億8639万円	△7430万円	△39.9%	
資本的支出		3億7775万円	4億809万円	△3034万円	△7.4%	

地方創生推進交付金で 嬉野版DMOを核として 地域ブランド化

地域DMO運営推進事業費に1200万円、また地域魅力アップ・地域ブランドづくり事業費に1400万円が予算化されました。

DMOとは、地域の稼ぐ力を引き出すとともに地

域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地づくりを実現するための組織です。市や観光協会等が策定する「嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」や、「嬉野市観光戦略」は、



▲観光立市として更なる飛躍を

重要業績評価指標の達成が重要であり、そのためには各産業団体や各地域産業が連携し、「観光まちづくり」と地域ブランドづくりのさらなる充実が求められます。

問 どのような事業か。

答 地域DMO運営推進事業費は、嬉野ブランドづくり事業や専門マネージメント・マーケティング事業、人材登用、WEB・SNSなどに活用される。また、地域魅力アップ・地域ブランドづくり事業費は地域団体等の活動を支援する事業費であり、嬉野温泉旅館組合による交流型イベント、温泉商店街組合の街歩きや空き店舗活用、肥前吉田焼窯元組合による新商品開発・販路拡大、九州忍者保存協会が取り組む事業などに活用される。

素晴らしい 嬉野温泉を未来に 源泉集中管理事業

今年度、源泉集中管理事業に1億6000万円が予算化されました。嬉野温泉全体で温泉資源の保全を目的とする源泉集中管理は、両町合併時のリデザイン事業として検討されてきた事業です。本事業で源泉情報を一元化し、市内の源泉状況をリアルタイムに把握することにより、温泉資源の保全対策として期待されます。事業の内容は、源泉集



▲大切な温泉資源を未来へ

中管理モニタリングシステムの構築です。

問 計測機器設置工事の箇所は平成30年度13箇所、平成31年度4箇所の予定ですか。

答 どのくらいの費用が掛かるのか。また、どこが管理するのか。

答 3年間で2億2522万円の事業費で、嬉野市が管理する。

問 この制度で湯湯に規制がかけられるのか。また源泉の保護はできるのか。

答 県の規定を含め、迅速な対応ができ、温泉資源の保護につながる。

問 源泉の状況はどのように把握するのか。

答 市役所内のパソコンでクラウドシステムを利用し把握する。

スポーツキャンプ誘致の起爆剤に期待！ 嬉野市総合体育館（仮称）整備事業

今年度、嬉野市総合体育館（仮称）整備事業に9億3400万円が予算化されました。

老朽化した社会体育館と嬉野市体育館の施設が集約により効果的な運営が可能となり、管理運営の軽減及び市民のスポーツ振興発信基地としての目的で、うれしの市民センター（仮称）と併設して旧嬉野小学校跡地に平成31年2月完成予定の事業が進められています。

嬉野市では、2020年の東京オリンピックに向け、ホストタウンとしてスポーツ誘致を進めています。また平成35年には佐賀国体も開催されるため、アリーナ床を樹脂製の板にクッション材を張り付けたシートに変更することになりました。

問 変更の理由は。
答 フローリング床板の剥



▲建設中の市総合体育館（仮称）

がれによる負傷事故の防止について国から通達があった。またバレーボールなどのアリーナスポーツの国際規格は樹脂製の床を採用している。

嬉野市では県内唯一の「みゆきドーム」を保有していることにより、国際的、県内外から合宿の需要も多く、総合体育館の新たな床材

を設置することでPRもでき、更に多くの合宿誘致が期待できる。

問 増額になるのか。

答 現行の予算の範囲内で行う。

問 既存の体育館はどうするか。

答 佐賀国体後に社会体育館と嬉野市体育館は取り壊しの予定。

嬉野に新たな観光施設「チャオシル」



▲新たな観光資源として期待したい

今年度うれしの茶交流館に2787万円が予算化されました。

嬉野茶の基幹産業であるお茶について、先人の努力と技術改良の歴史を後世に伝えるため、資料の保存

うれしの茶交流館愛称募集に全国から162点の応募をいただき、神奈川県横須賀市在住の男性が応募された「チャオシル」が愛称として採用され、うれしの茶ミットと「チャオシル」オープニングイベントが同時開催されました。

総事業費が約6億円となりますので、市民の皆さんと民間活力の知恵とアイデアを生かし、観光の目玉となるような集客を望みます。

問 入場料はいくらか。
答 大人300円、小学生150円、団体20名以上200円となっている。

問 スタッフは何人ぐらいか。
答 スタッフは館長以下7名で運営する。

問 イベントは。
答 スタッフは館長以下7名で運営する。年4回の予定。

と展示を目的とします。併せておいしいお茶の淹れ方や茶染め体験を通して、市民をはじめ観光客へのうれしの茶消費拡大や販売促進につなげることを目的とします。

と展示を目的とします。併せておいしいお茶の淹れ方や茶染め体験を通して、市民をはじめ観光客へのうれしの茶消費拡大や販売促進につなげることを目的とします。

3箇所へ増設し、更なる充実を 地域包括支援センター事業に

今年度、地域包括支援センター事業費に1230万円が予算化されました。

地域包括支援センター事業は、介護保険事務所からの委託事業（①総合相談支援業務②権利擁護業務③介護予防支援、介護予防事業マネジメント業務

④包括的・継続的ケアマネジメント支援業務）と支援者に対するケアプラン作成業務を行っています。これまで嬉野庁舎と塩田庁舎に設置されていましたが、今年度より社会福祉法人に委託して、市内3箇所の地域包括支援センターで事業を実施します。

問 非常勤職員が昨年度5名から今年度3名に減っている要因は。

答 今までは、嬉野市全体を1箇所の地域包括支援センターで担っていたが、市内を3地域に分割し、2箇所を委託したために担当地域が縮小され、人員減となった。今年度からは、嬉野東部地域包括支援センターとして、基幹型機能を備えて、嬉野庁舎に設置する。

問 職員の配置はどうか。

答 各々の地域包括支援センターには専門員が常駐し、また介護保険の要支援者の介護予防支援計画作成担当者をおくようにし、市民に対してきめ細かい福祉サービスの提供ができる体制を構築した。



▲拡充される地域包括支援センター

人口増の対策に 定住促進奨励金

嬉野市定住促進 奨励金額 30万円以上

転入奨励金・持家奨励金をご用意しました

新婚3年以内の方は30万円加算！

嬉野市では、定住人口の確保と増加を図るため、市内に定住することを目的として住宅を取得された方に対して、定住奨励金を支給します。

対象になる方
市町村税及び水道使用料を滞納していない方で、平成32年3月31日までに、次の①、②両方の項目に該当する方を対象とします。

転入奨励金 ①5年以上嬉野市以外の市町村に居住している方が、嬉野市内に定住することを目的に転入し、1年以内に住宅（新築・中古）を取得した場合	持家奨励金 ①嬉野市内に居住し、自己名義の住宅用地及び住宅を所有しない方が、市内に定住することを目的として、現に居住している同一敷地外の新たな住宅用地に住宅（新築・中古）を取得し転居した場合
--	---

▲定住につなげたいPRチラシ

定住促進奨励金に1000万円が予算化されました。嬉野市に定住される方に転入又は持ち家の奨励金を支給します。

転入奨励金は、5年以上嬉野市以外の市町村に居住している方が、市内に定住することを目的として1年以内に住宅（新築・中古）を取得した場合、持家奨励金は、市内に居住し、自己名義の土地や住宅を所有しない方が、定住することを目的とし

て、現在住んでいる敷地以外の新たな土地に住宅を取得し転居した場合。

また5年未満市外に居住する方が、以前住んでいた同じ敷地以外の新たな土地に住宅を取得し、転居した場合。但し、いわゆる「建て替え」は対象外となります。

いずれも取得した住宅に5年以上定住の意思のある方です。

問 実績はどうか。
答 年々増えており、平成

29年度で転入18件、持家36件である。市内工業者比率は3割となっている。

問 市内業者の施工が減っているが対策は。
答 地域活性化のために促進していく。

問 アパートなどへ転入される方への補助は考えられないのか。
答 今後検討する。

詳細についてはホームページまたは担当課にお問い合わせください。

若い人の外部活力を生かす 地域おこし協力隊の増強



▲発信拠点の事務所づくりをする協力隊員

今年度、地域おこし協力隊として746万円が予算化されました。昨年からの採用している地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化が進んでいる地方の活性化のために地域外からの若い人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってほしい、地域に根差し、本人の定住・定着を図る取り組みです。

嬉野市は昨年から1名を採用していますが、九

州新幹線西九州ルート開業時に最大の効果を發揮するため、嬉野のまちづくりにより更に1名を募集し、2名で、まちづくりに関する企画立案などの活動を行います。

隊員は、まちづくり会社「株式会社嬉野創生機構」との連携で一定期間、地域に居住して地域ブランドや地場産業の開発・販売・PR等の地域おこしの支援を行います。

問 採用期間は。

答 最大3年間で、その後は嬉野市への定住につながるかと期待する。

問 隊員の経費は。

答 特別交付税による財政支援となっている。

命を守る 新たにハザードマップ策定



▲新たなハザードマップに期待

ハザードマップ策定業務に400万円が予算化されました。ハザードマップとは、自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したものです。予測される災害の発生地点、被害の拡大範囲および被害程度、さらには避難場所などの情報が既存の地図上に示され

ています。

ハザードマップを把握し活用することにより、災害発生時に住民が迅速・的確に避難を行うことができ、被害の低減に非常に有効です。

問 事業内容は。

答 国の社会資本整備総合交付金を活用し、災害に関する情報の伝達方法、

指定緊急避難場所、浸水想定区域、土砂災害警戒区域等に関する印刷物を配布する。

問 この事業の目的は。

答 土砂災害や浸水状況、避難所等についての情報を分かりやすく住民に提供し、早期避難を促すものである。配布することによって地域特性の反映や住民への周知、利活用の促進並びに地域防災力の向上を図ることができる。

問 配布の時期は。

答 平成31年3月頃に嘱託員を通じて配布予定。どのような利用ができるのか。

答 災害想定区域が明記され、被害の形態が想定できる。避難場所が示され、早期避難ができる。

嬉野市地域
コミュニティ
センター条例

問 制定の理由は。
答 久間地区、轟・大野原地区地域コミュニティセンターの建設に伴い条例が制定された。両地区においては地域づくりの拠点が整備される。

嬉野市住生活基本計画及び公営住宅等
長寿命化計画策定委員会設置条例

問 制定の理由は。
答 嬉野市における快適な住まいや、より良い環境づくりの実現に向け、人口減少問題等も視野に入れ、住生活基本計画及び公営住宅等長寿命化計画策定委員会設置に係る必要な事項を定めるため。

問 委員会構成と内容は。
答 市民また市職員など10名以内で組織し、市民へのアンケートなどを踏まえ、今後の嬉野市の住宅行政のあり方を市長に報告する。



▲新たな地域の拠点へ

陳情

補助金等
増額に関する
要望書

陳情者
住所 佐賀県嬉野市
塩田町大字馬場
下甲一九六七番地

氏名 一般社団法人
嬉野市シルバー
人材センター
理事長
毛利 宏之

賛 否 表

○は賛成 ●は反対

議案番号	議案名	結果	番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
			山口卓也	諸上栄大	諸井義人	山口虎太郎	宮崎一徳	宮崎良平	川内聖二	増田朝子	森田明彦	辻浩一	山口忠孝	山下芳郎	山口政人	芦塚典子	梶原睦也	
議案第10号	嬉野市地域コミュニティセンター条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	嬉野市住生活基本計画及び公営住宅等長寿命化計画策定委員会設置条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	平成29年度嬉野市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	平成30年度嬉野市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	嬉野市監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	嬉野市副市長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	嬉野市固定資産評価員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第3号	嬉野市第2次総合計画に関する特別委員会の設置及び委員の選任並びに付託について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第4号	議会ICT化に関する特別委員会の設置及び委員の選任並びに付託について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

臨時議会

人事

嬉野市教育委員会
教育長の任命について

教育長
杉崎 士郎氏
(嬉野町)



嬉野市教育委員会
教育委員の任命について

教育委員
宮崎 憲太郎氏
(嬉野町)

教育委員
荒武 治美氏
(嬉野町)

嬉野市固定資産
評価審査委員会委員の
選任について

委員
尾形 民生氏
(塩田町)

委員
一ノ瀬 真氏
(嬉野町)

委員
川原 律子氏
(塩田町)

委員
中嶋 敦氏
(嬉野町)

ふるさと 応援寄附金

好調

2月14日に臨時議会を開催し、ふるさと応援寄附金が好調に推移したため4億円を追加補正し、寄附額を26億円としました。

嬉野市のまちづくりを応援するために贈られた寄附金は、基金として積み立て寄附者の意向に沿って(子育て・教育、医療支援、スポーツ産業振興、防災などに)活用します。

寄附金受付は、インターネットまたは市役所へ直接申込みの二通りで、寄附者へのお礼品は業務委託します。

問 この事業の内容は。

答 ふるさと応援寄附金とは、自分の応援したい県、市町村へ「寄附をする」ことで、寄附金に応じた税の控除を受けられる。

問 寄附金の使い道は。
答 平成27年度から始まり、平成28年度は17億円、平成29年度は26億円の寄附をいただいている。

地域コミュニティ推進事業、嬉野市総合体育館(仮称)整備事業、小・中・高校生等の医療費助成事業、伝建保存対策事業など、多くの事業の推進にふるさと応援寄附金が活用されている。

その他の主な補正予算

項目	金額
機構集積協力金交付事業	△1490万円
地域福祉基金	3億9268万円
障がい者自立支援給付費	1900万円
保育所等整備事業	926万円
定期予防接種事業	320万円
経営体育成支援事業	425万円
市道調査・改良工事	850万円
第7土地区画保留地処分	4679万円

補正予算

補正予算とは

当初予算が成立した後に発生した事由によって、当初予算通りの執行が困難になった時に、本予算の内容を変更するよう組まれた予算です。

自然災害等の予見し難い事態や、経済情勢の変化、

交付金・補助金等の変動等により予備費で対応できないような場合には、追加予算を編入し、議会の承認を受けて補正予算が成立します。

市議会 Q&A どうなってるの？

Q 市議会って何？

A 私たちの市を快適に住みよい街にするため、市民が選挙をし、代表を選びます。この代表を「議員」といい、話し合う場所を「議会」といいます。

Q どんな仕事？

A 市議会の一番基本的な仕事は、3月、6月、9月、12月の年4回の本会議（定例会）。また必要に応じ招集される臨時会などがあり、市が提案した議案を審議・採決したり、時には議会から議案を提出するといったこともあります。また各常任委員会や特別委員会に所属しており、定例会とは別に調査や会議、市が行う行事への出席、さらに個人的にも調査・研究

Q 市議会議員の任期は何年で済みますか？

A 任期は4年と定められています。ただし、補欠選挙で選出された場合は、前任者の残任期間が任期となります。

Q 議員年金や福利厚生は？

A 平成23年6月に地方議員年金制度は廃止になっています。また議員は市の職員と

を行っています。

Q 議案質疑と一般質問の違いは？

A 議案質疑・・・行政から提案された議案について、疑問や不明確な点があった場合、質問し説明を求めらるものです。

は違い、福利厚生、また退職金等ありません。

Q 世間で話題になってる政務活動費。嬉野市ではどうなってる？

A 一般質問・・・市の行財政全般にわたって、事業の執行状況や将来に対する方針等、多岐にわたる質問ができ、政策提言などの議論も行われます。なお嬉野市の一般質問は、一人当たりの持ち時間は90分です。

A 嬉野市においての政務活動費は、議員の行う調査研究のために必要な研究会への参加や先進地視察、図書、資料の購入に要する経費として月額2万円が交付されます。

使用した政務活動費については、報告書等を作成し、全員協議会において報告します。また収支報告書に活動費の領収書すべてを添付し提出しています。なお、インターネット、両庁舎にて閲覧が可能です。

A 市長も議員も住民の直接選挙で選出されますが、市長は行政機関の長であり、予算を策定し政策を執行するのが役割です。議員は市長が編成した予算案の議決や政策の執行状況を議会でもチェックすることが役割です。つまり市長と議会の関係は車のアクセルとブレーキの

Q 議会を傍聴できますか？

A 誰でも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、議会事務局に直接お越しください。

ようなもので、これを「二元代表制」といいます。

Q 傍聴以外に議会を見れる方法は？

A 嬉野市議会では、傍聴以外で二通りの方法があります。

1・嬉野市議会のホームページにおいて本会議が開催されている間、インターネット配信をしています。また録画配信は、当該本会議からおおよそ3日後くらいにホームページに掲載しています。

2・市内のケーブルテレビで、本会議の開会・一般質問の模様を生放送しています。

また、当日の夜以降に順次放送されます。（放送時間は19時から23時頃まで）

15議員が質問

山口 政人 議員 (P14)

森田 明彦 議員 (P14)

芦塚 典子 議員 (P15)

山下 芳郎 議員 (P16)

川内 聖二 議員 (P16)

諸上 栄大 議員 (P17)

山口 忠孝 議員 (P18)

辻 浩一 議員 (P18)

山口 卓也 議員 (P19)

山口 虎太郎 議員 (P20)

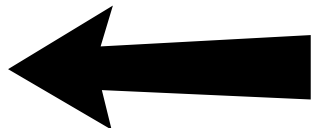
諸井 義人 議員 (P20)

梶原 睦也 議員 (P21)

宮崎 一徳 議員 (P22)

増田 朝子 議員 (P22)

宮崎 良平 議員 (P23)



次ページは
一般質問

新人含む全議員が

新市長に挑む！

3月議会

よくある



縁の下の力持ち！ 議会事務局って？

今回は私たちの大切なパートナーでもある議会事務局を紹介します。

議会事務局とは、議会の議決や審議に関わる調査研究、情報収集、交渉、調整だけではなく、議会運営や議会改革を行うにあたり、議会の組織基盤や活動基盤を整え、議会や議員の活動全般をしっかりと

り支えていくという大きな役割があります。

まさに私たち、議会と議員においては欠かせない存在であり、縁の下の力持ちという言葉が相応しい仕事です。

今後とも、共により良い議会を目指して精進してまいります。

中

山間地農業を守って いくためには

山口政人議員

答 県の試験研究機関との連携も考える



山口 地域農業存続のためにはなにかが必要か。

市長 生業として成り立つ方法を検討する必要がある。また、良質な米を生産し、高水準で価格を安定させる方向で政策を展開していく必要がある。

山口 中山間地農業を守っていくための政策は。
市長 各種補助事業を活用し、県の試験研究機関との連携も考えていきたい。

山口 農業後継者対策はどうするのか。
市長 新規就農者の募集育成をし、農地確保や

経営支援を含めて、地域を挙げて支援をしていく体制を整えたい。

山口 中小規模農家の支援策はあるか。

市長 地域の特性を生かした産地づくりを進めていきたい。

久間工業団地の進捗は

山口 久間工業団地への企業誘致の見通しは。

市長 雇用の場の確保は大変重要な施策なので、最優先の候補地として企業側に話をしていきたい。ただ、農地転用申請するには県との協議のなかで、進出企業の可能性を指摘されているので、みずから率先して誘致活動に取り組む。

じぶんセンター整備の計画は

小・小規模企業振興条例制定の進捗状況は

森田明彦 議員

答

条例の制定に向けた取り組みを行っていく



森田 佐賀県でも同条例の制定を4月1日施行の予定で動いているが。

市長 嬉野市においても条例の制定を視野に、県および他市町の条例の収集を行っており、今後、県の条例内容等確認して取り組んでいく。

就任後まず 取り組む事は

森田 市の課題も山積するなか、市長がまず取り組みたい事はなにか。

市長 合併して13年になる。両町の市民の交流が生まれるような仕掛けを盛り込みたい。また、2022年開業の新幹線駅周辺のまちづくりも、取り組む課題だと認識を持っている。

森田 子育て支援日本一を公約に挙げていたが具体的な事業は何か。

市長 現在、準備を進めていることもセンターの整備や保育所等の施設整備への支援、そして放課後児童クラブなどの環境整備にも取り組む。

電子決済の普及を

森田 外国人観光客が増えている。観光戦略として、また、経済の活性化にも電子決済端末機の導入が不可欠と考えるが、

当市の現状と導入拡大の考えはあるか。
市長 県の集計で本市



▲条例制定できめ細やかな商工振興を！！

での導入は9店舗、今後は県の補助制度の動向に注視して検討していく。

うれしの温泉観光課長 市の事業としてカード決済の補助制度もあるが現状では利用がない。県が先行しているので今後協議をしていく。

国道34号沿いの歩道の設置について

森田 市長もかわられ、新しい考えの下での認識

も含め、再度質問する。

今寺バス停から一位原交差点間の歩道の設置について、地元関係者の協力で沿線住民の方々の同意もほぼ得ている状況と聞くが、なかなか事業が進まない。進捗状況はどうなっているか。

市長 12月以降での目立った動きはないが、今年に入って交通量調査が行われた。今後も関係機関への要望活動は継続的に行っていく。

こどもセンター整備はどうなっているか。

市長 平成31年度開設を目指して、塩田保健センターの中に子育て世代包括支援センターとの共同運営で取り組んでいくが、私としては、様々な機能を組み合わせて相乗効果がでる施設にしたい

市道はどうか。

山口 市道の舗装計画はどうか。

市長 舗装の経年劣化が見られ、市民の生活道路でもある。補助事業等活用し、できるだけ予算を確保していきたい。

山口 学童クラブの現況は。

市長 塩田地区の小学校に4クラブ、嬉野地区の小学校に7クラブである。放課後だけでなく、土曜日や長期休暇中も開設している。

山口 待機児童はいるか。

子育て支援課長 平成30年度、待機児童は93名。

市長 4月から学童に行けないということか。

子育て支援課長 4月からは待っていたけど、ことになると夏休み以降は、入れ替わり補充ができる。

市長 なぜ学童待機児童が出てくるのか。

子育て支援課長 平成30年度は、予想を超える申し込みが出てきている。

市長 どのように対処していくか。

市長 スピード感を持つて解決にあたるよう担当課と協議していく。

新しい市政の運営は

市長 人づくりに重点をおいた市政の運営は、新幹線開業に伴う駅周辺整備や観光まちづくりと地域ブランドづくりの発展充実を図る。

市長 次世代を担う人づくりの重点施策は、若い人の働く場をつくるため企業誘致に取り組む。



学

童クラブの待機児童は

答 解決できるよう協議する

芦塚典子議員

山口 学童クラブの現況は。

市長 塩田地区の小学校に4クラブ、嬉野地区の小学校に7クラブである。放課後だけでなく、土曜日や長期休暇中も開設している。

山口 待機児童はいるか。

子育て支援課長 平成30年度、待機児童は93名。

市長 4月から学童に行けないということか。

子育て支援課長 4月からは待っていたけど、ことになると夏休み以降は、入れ替わり補充ができる。

市長 なぜ学童待機児童が出てくるのか。

子育て支援課長 平成30年度は、予想を超える申し込みが出てきている。

市長 どのように対処していくか。

市長 スピード感を持つて解決にあたるよう担当課と協議していく。

新しい市政の運営は

市長 人づくりに重点をおいた市政の運営は、新幹線開業に伴う駅周辺整備や観光まちづくりと地域ブランドづくりの発展充実を図る。

市長 次世代を担う人づくりの重点施策は、若い人の働く場をつくるため企業誘致に取り組む。



▲子育て環境の更なる充実を

市長 本市に住みたい、行きたいという人の流れをつくる。働きたい仕事をつくる。結婚、出産、子育てをした町をつくる。安心して暮らしたい地域をつくる。これを基本にスピード感を持つて各政策に取り組む。

市長 各省市にまた

がる地方創生推進交付金をさらに活用するためには、総合戦略の専門性、迅速性が重要ではないか。

企画政策課長 従来通り当課で対応していく。

市長 「総合戦略課」が必要ではないか。

市長 提案は研究していく。

▲荒廃しないような農業政策を





雇

用創出はどのようになるのか

答 企業誘致を第一に進める

山下芳郎議員

山下 市長選挙公報の第一に雇用創出があるが、どうするのか。

市長 企業誘致を第一に考えたい。嬉野市でなければならぬ企業に絞る。

山下 用地など環境整備はどうするのか。

市長 企業誘致はスピード感が必要で並行して適地を造成する。

山下 久間地区、吉田地区にある企業誘致の用地はどうするのか。

市長 候補地は広く適地を検討する。

山下 新幹線駅前の企業誘致ビルはどうなっているか。建設はいつか。

市長 観光地嬉野を生かせる観点が必要と考える。

山下 ICTを活用している。

ICTを活用し

企画政策課長 平成31

年秋ごろの整備を予定し

ている。

た雇用に温泉地と自然の中

で情報通信を生かした嬉野版シリコンバレー構想で個人の起業も考えられるが如何か。

市長 実現に向けて嬉野の未来を語っていききたい。

子育て支援はどうする

山下 公約にある子育て支援はどう進めるのか。

市長 こどもセンター整備検討委員会で塩田保健センターの中に開設し、各専門員を配置し、ワンストップ型の子育て支援拠点を目指している。

山下 縦わりでなく横につながるワンストップであれば、狭くないか。

市長 塩田保健センターは暫定開業である。

嬉野と塩田に別々というが、将来は一カ所と考える。今後、予算も含め



▲ネットを活かした起業支援を

協議する。

山下 子育て中の保護者にとって嬉野地区にも考えられないか。

市長 嬉野庁舎にある施設は暫定的であるがそれぞれ機能はある。将来的には場所は白紙である。

山下 夜間の緊急医療相談ができる大村市こどもセンターのような先進地もあるが、参考にして

いるところはあるか。

市長 吉野ヶ里町のノイエを参考にしている。

みんなが安心して預ける環境づくりに取り組み

その他

・うれしの茶交流館に

ついて

・嬉野医療センター跡地の活用は

・観光問題について

工業用地の造成の思いは

川内聖二 議員

答 スピード感を持ってやる



川内 市長の公約で企業誘致があるが、考えを問う。

市長 企業誘致を一目一番地に位置づけ、待ちでなく攻めの誘致を考え、また地元企業の支援という視点も大事に考えている。

川内 地元就職率10

%アップとあるが、就労人数でいえば何人か。

市長 雇用創出とすれば大体200人を考える。

川内 駅周辺の開発地に事務系の企業を誘致する企業誘致ビルの計画があるが、ビルの規模は。

企画政策課長 企業誘致ビルは3階建てぐらいの規模で、現在ベッツベストが入ることが決まっている。

川内 久間地区を優先して誘致すると聞いたが、嬉野地区に工業用地を整備するとしたら最短で何年ほどかかるか。

市長 他の自治体でも5〜6年かかるので、このくらいはかかるかと認識をしている。

川内 地権者の方が了解し申請等も何事もなくクリアしてもこれだけの期間がかかるので、嬉野から若者を出さない、人を呼ぶまぢづくりを早急に行ってもらいたい。実現という点でスピード感を持って取り組みたい。

空き家対策は



市

市長の施策と今後の取り組みは

諸上栄大議員

答 スピード感をもって嬉野の未来づくりに邁進する

【諸上】 これまでの市の政策についてどのように考えていたのか。

市長 平成18年の合併以来シーボルトの湯、塩田中学校改修や社会文化会館リバイの建設を進められ、未来の嬉野づくりの基盤は整ったと思う。

一方、新幹線西九州ルート開業に向けたまちづくり計画にスピードアップが求められるので、広く市民の声を聴く場や、世界に発信していくPRの強化が求められ、早急に取り組む課題も山積していると考ええる。

【諸上】 雇用政策について、具体的に嬉野市の地域資源をどのように活用し雇用政策を考えているのか。

市長 キャベツ栽培や露地野菜の栽培、高品質のお米や大豆等の多種多様な農産物を加工する工場誘致ができれば、優良農地保全と雇用確保の解決ができるのではと考える。

子育て支援に関して

【諸上】 「子どもと子育て世代が集まる場所」にぎわいを創出」を掲げられているが、具体的なビジョンはあるのか。

市長 こどもセンターの整備に向けて準備を進めている。相談対応や情報発信、各種子育てのサービスのコーディネートを行う専門スタッフを

【川内】 平成28年度行った空き家実態調査の結果は。

市長 物件は、482件で所有者が特定できたのは、468件で利活用の意向調査も行う。

【川内】 特定空き家は2年前に4件あったが、現在は何件あるか。

総務課長 物件は4件あったが、1件は所有者が解体され、3件である。**【川内】** 特定空き家に対

しては、どのような対策を考えているか。

総務課長 特定空き家に認定されたら解体の補助制度がある。危険な空き家が増えないように対策を行っていきたい。

【川内】 人に被害が及ばないような対策を望む。**総務課長** 被害があつてからは遅いと思うので、早く情報をつかみ直ぐに対応をしていきたい。



▲未来の子どものためにスピード感を持った対応を



▲企業進出を待つ近隣の工業団地

う

れしの茶交流館で古陶磁器等文化財の展示はできるのか

山口忠孝 議員

答 展示できるように準備を進めたい



も陶磁会館みたいなものがあると思う。

子どもたちの学力向上は

山口 佐賀県小・中学校学習状況調査の結果はどうだったのか。

教育長 嬉野市内全体としては、県平均と比較しておおむね良好である。

山口 過去と比べてどうか。

教育長 過去と比べてた

山口 学校塾や放課後補充学習指導の効果が表れているのか。

教育長 基礎学力の向上につながっているのではないかと思う。

青雲のいんぎょは

教育長 茶交流館より



林

道として整備できないか

辻浩一 議員

答 市道以外の手法で検討する



辻 殿の木庭に行つたことはあるか。

市長 行き止まりになつている現状は確認している。

辻 行き止まりの道路は、災害時孤立してしまふ。市道として整備できないならば、作業林道として整備できないか。

市長 市道整備以外で



▲避難道路の確保を急げ

の手法を含め検討したい。

雇用の確保はどうする

辻 市長選公約の雇用確保はどうするのか。

市長 嬉野らしい木材や食品加工工場等、的を絞つた企業誘致をする。

また企業誘致ビルにITや事務系の企業誘致を積極的に進め、さらに起業支援などの施策を行い、

多様な仕事の創出に取り組む。

辻 新幹線開通も含

の意味を実感してもらえ
るような業種の選定を考
える。

吉田公民館の
UD化はどうなる

辻 吉田公民館にエレベーターの設置は構造的に無理なのか。

文化・スポーツ振興課長 新築並みの予算をかければできないことはない。リフト等、椅子を2階に上げるような装置の意見があるが、決定的な結論に至っていない。

辻 ふるさと応援寄附金の活用は考えられないか。

市長 今後、研究していきたい。

市道の安全性を急げ

辻 幅員の狭小な市道は、有蓋側溝などで安全確保のスピードを上げられないか。

建設・新幹線課長 年間通じて業務を行っている。緊急を要する所は連絡してほしい。



山口 市政運営はどのように進めていくのか。
市長 課題山積であるが市民一体となって取り組むために、行政区での対話集会を早急に実施したい。

山口 職員の掌握と融和は大事だと考えるが。
市長 全ての職員とコミュニケーションを密にやっっていくことは、今後大事だと考えている。
山口 高齢化、人口減少時代のまちづくりは、

市民にこれまでの意識を変えてもらう施策を取り入れていかなないと厳しいのではないかと。
市長 確かに、経済成長時代から均衡・縮小の時代なので考え方の転換が求められていると思う。

山口 具体的には。
市長 行政としては、財政状況を開示して、できること、できないことを明示し、市民との対話を重ねていきたい。



▲嬉野の宝を守れ



山口 公共建築物に対する投資的経費が今後4年間で約150億円不足する見込みであり、長寿命化や削減といった目標が市の計画で掲げられている。
 現状と課題の認識及び今後の整備や管理の方針を伺う。

市長 これまでは対処療法的に修繕を行う事後保全型の管理をしていたが、今後は定期的に点検診断を行い予防保全型の管理に転換し、トータルコストの削減及び年間支出の平準化を図っていく。

山口 市の計画には公共建築物の削減目標があるが。
市長 人口減少は避けられないという前提の上で、具体的な計画はないが、削減の方向に向かっていくものだと理解して

公

共建築物の削減課題に対する考えは

山口卓也 議員

答 納得と対話を大事にし、課題と向き合っていく

いる。

山口 削減については、今は厳しい課題であるが、未来に誇れる選択だと思いが。

市長 責任ある世代として、痛みを伴うが向き合っていく必要がある。ただ、急な削減は地域の皆様にご不便をかけてしまう。納得と対話というプロセスを大事にした

企業団地の造成について

山口 新聞記事で、いち早く用地を造成したいとあつたが。

市長 先に造成をして企業を待つというのが基本戦略ではないかと考えている。農地転用の手続きで課題はあるが、誘致活動と同時並行的に進め、スピードアップを図っていききたい。



▲統合により解体が予定されている社会体育館

山口 整備に係る期間や費用の見込みは。

市長 最短で3年程度、1ヘクタール当たり1億円から2億円と想定しているが、状況によるため一概には言えない。

山口 県の補助を受けながら先行投資と捉え推進してほしい。今後の推進体制はどう考えるか。

市長 職員一人ひとり

識をもち、総力を挙げて取り組んでいく。

向こう3年間の実施計画の策定について

山口 策定状況は。

市長 現在策定中の新しい総合計画の策定が終了した後に、直ちに実施計画の策定に着手していく。



うれしの茶販路拡大をどうする

山口虎太郎 議員

答 トップセールスに努める

山口 基本目標の中で嬉野市で働きたい、しごとをつくる。その中でうれしの茶の販路・需要拡大とあるが、具体的な施策と、どう進んでいくのか伺う。

市長 海外の販路開拓に向けたさまざまな施策を展開している。平成27年度に策定した、うれしの茶海外販路開拓戦略策定に基づいて、展示会、テストマーケティング等

を実施し、3件の商談が成立している。新たな接点については、現在、全国展開をしている会社と契約を行い、販促活動、商品展示会等に出席している。

地集落の買物難民の対策について伺う。
市長 現在、嬉野地区、塩田地区でバスでの送迎を行っている。その間に入浴、買物をしてもらえる。

山口 集落を回れるヨッシー号の利用法で入浴、買物、病院を回り各スーパーと運営方法を協議し、観光の交通手段ともなれる支援ができないか。

市長 観光と合わせた移動の形態を検討したい。



▲さらなる販路拡大が望まれる

山口 高齢者の増加と免許証の返納による山間

高齢者の交通対策について

うれしの茶振興課長 やはり海外へ出すとなれば、残留農薬の基準がひとつのネックになると思う。各輸出国の基準に合致した生産体制を今考えているところである。

その他の質問
・担い手の育成と農業後継者の確保について
・コミュニティ活動の促進について

高齢者の増加と免許証の返納による山間

高齢者の交通対策について

山口 高齢者の増加と免許証の返納による山間

学校における働き方改革は

諸井義人 議員

答 部活動指導員の導入検討



つくっている進行形で、先生の意識改革を進めている状況である。

学校給食について

諸井 学校給食費を公会計にする考えはないか。

教育部長 現在の方法で徴収も頑張っていただいており、教諭の方に手をかけない方法で徴収を行っているので、当面は私会計方式でいきたい。

諸井 給食費の無償化や減額は考えられないか。

市長 全額無料化すると1億円超の財政出動が必要である。限られた予算の中では、完全無料化は難しい。第三子以降については検討の余地があると考えている。

国道や市道について

諸井 市道大牟田牛間田線の改良についてはどうなっているのか。
建設・新幹線課長 年次

「日本一の福祉のまち」について

梶原睦也 議員

答 「人にやさしいまちづくり」という基本は外さない



梶原 今後どのような取り組みを行うのか。

市長 市民の一体感を醸成するのが第一。納得と対話をキーワードに動く。

梶原 市民にとって大事な施策が福祉施策である。「日本一の福祉のまち」についての考えは。

市長 今後もユニバーサルデザインをはじめとする「人にやさしいまちづくり」という基本コンセプトは外さない。

梶原 命と健康を守る施策は。

市長 自殺対策の充実に取り組み。市民自身の健康管理への意識向上と生活習慣病予防のための運動不足解消策を考える。

梶原 障がい者・高齢者にやさしいまちづくりとは。

福祉課長 住み慣れた地で、安心して自立した生活を送られるよう地域ケアシステムを構築する。

市長 障がい者施策については農水省・厚労省の事業も活用し農福連携の取り組みを研究する。

梶原 手話言語条例の取り組みは。

福祉課長 市民や団体向けの手話講座、市報や有線放送により手話への理解が深まった。

副市長 手話には約50名程度の職員が取り組んでいる。職員が豊かな表情になって市民の皆さんに対応していただきたい。



▲目指せ。日本一の福祉のまちを

梶原 子育て制度についてはフィンランドの子育て制度ネウボラを参考としていただきたい。

市長 同感だ。妊娠から子育てへと切れ目のない支援ができる体制を作る。

新教育委員会制度について

梶原 新教育委員会制度による効果は。

教育長 責任の所在が

はっきりした事と、課題に対し即判断、即対応ができる。

梶原 大津市のいじめ自殺問題が制度改革への要因と言われているが、今後いじめ問題に対する責任の所在は。

教育長 軽微ないじめは学校で対応する。重篤ないじめ等は教育長も責任を持つが、最終的には市長の責任と判断になる。

市長 当然、私の責任も重大だ。



▲子どもたちのために民間と連携を

計画で進めている。財政的なこともあるが、車道の拡幅で随時計画的に取り組んでいきたい。

諸井 市役所前の交差点を安全対策のために歩車分離信号にはできないか。

市長 鹿島警察署の交通課に尋ねたところ、地元学校等から要望があれば検討の余地があるということである。

諸井 国道498号の田中町から下久間地区については、合併以前から安全対策のために振興期成会等を結成し、市や土木事務所と陳情や要望があったがどうなっているのか。

建設・新幹線課長 どうにか進めなければいけないと重々わかっている。柵藤土木事務所と今後の進め方について近々協議したい。

市長 地元の悲願であると承知している。早い解決を目指して頑張りたい。

嬉

野市の人口減対策は

宮崎一徳議員

答 市民の力を結集して
取り組みたい



宮崎 嬉野市が誕生

してからの12年間で、約3500人の人口減少があったことについて、市長はどのような認識があるか。

市長 一点目は、地元

で働ける仕事をつくること。二点目は人口、観光を含めた人の流れを作ること。三点目は結婚、出産、子育てのライフステージの中で住みよさを実感していただくまちをつくること。四点目は嬉野市で安心して暮らせる地域をつくること。この4本柱をもとに施策を展開する。

宮崎 中山間地に対応した対策はあるのか。

市長 中山間地においては、人口減少の進行が早いのではないかと考えている。働く場所を確保して嬉野市に住み続けられるような施策を展開していく。

有害鳥獣対策について

宮崎 有害鳥獣対策

は、農業経営者にとつて、防護柵の設置や管理に負担を強いられなど深刻であり、早急な対策が望まれるがどう考えるか。

市長 イノシシのハンター育成も大事な事業である。捕獲した後の処理等、いろいろな角度から有害鳥獣対策について研究を進める。

宮崎 鷹匠の駆除の効



子どもセンターの考え方は

増田朝子 議員

答 様々な機能を
組み合わせたもの



増田 こどもセンター

の考え方は。子どもを遊ばせながら親世代の交流、子育てで相談などがワンストップで提供できるような場所を作ることが大事である。

市長 塩田の保健センターを

改修し、平成31年度こどもセンター開業を目指す。今回の開業は暫

定的か。

市長 その通り。

増田 今後、どのような発展させるのか。

市長 高齢者世代、子育て世代、市民活動の場また、農産物直売場など様々な機能を組み合わせ、子育てというキーワードで嬉野市の一体感醸成につなげていきたい。

企業誘致についての取り組みは

増田 攻めの企業誘致とは何か。

市長 企業誘致と造成を同時並行で進めていきたい。

増田 今後、工業用地の造成はどうするのか。

市長 県の補助金の動向、国の有利な補助金はないか担当課と協議していきたい。

増田 工業団地造成の気持ちはあるか。

市長 条件が整えば気持ちは向いている。

「ひとにやさしいまちづくり」について



▲こどもセンターはワンストップが鍵！

増田 シーボルトのあし湯のトイレは24時間使え便利だが、老朽化している。建設してから何年になるか。

増田 うれの温泉観光課 25年ぐらい。

増田 2020年のオリンピック直前誘致やスポーツ合宿誘致に向けてもこのトイレ改修は必要と思うが如何か。

市長 努力していきたい。

増田 健康維持の一環

としてグラウンドゴルフを楽しんでいる高齢者の方が多くみられる。吉田地区運動広場のトイレが和式トイレだけで利用しにくい。洋式トイレへ整備ができないか。

市長 研究をしていきたい。

その他の質問
・行政機能の集約について
・あったかまつりについて



果は。
農林課長 基本的には追いかいであり、出向いた場所では一定の期間は効果がある。

宮崎 猟友会の会員数が増減傾向にあると聞くと、嬉野市の場合はどうか。

農林課長 大幅の減少ではない。

生活道路の改修・拡幅について

宮崎 生活道路である

市道は改修が急がれるが、各地域からの要望に対する改修率は。

建設・新幹線課長 嬉野町26.9%、塩田町29.6%、全体で28.3%の改修率である。

宮崎 道路整備の優先度合いの判定項目はどうなっているのか。
建設・新幹線課長 緊急性、交通量等地元からの要望、同意を勘案し進めている。



▲待たれる市道の改修



宮崎 嬉野茶販路拡大振興対策及び今後の展開について伺う。

市長 県、あるいは諸団体等と連携し生産振興に努めていく。

宮崎 海外への販路拡大に向け、問題や課題を伺う。

うれしの茶振興課長 残留農薬基準、生産量、言葉の壁等の厳しい問題がある。

宮崎 できない理由は探せば幾等でも出てくる。市の財政負担や財政支援も含め、覚悟を決め各関係機関と本気で協議し、骨太な指針を打ち出すべきではないのか。

市長 本気度が試されている。基幹産業であり市民の誇りである。是非とも産地全体として取り組み協議していく。
宮崎 本年度採択を目標とされていた釜炒り茶

嬉

野茶振興対策及び今後の展開について

宮崎良平 議員

答 誇りある基幹産業であり、力を入れていく

の地理的表示（GI）保護制度の進捗状況を伺う。

うれしの茶振興課長 ハードルが高く採択に至っていない。今後とも採択に向け研究を重ねていく。

宮崎 全国茶品評会の重要性と今後の課題を伺う。

市長 平成29年度においては産地賞・農林水産大臣賞を受賞できてない。対外的なPRにおいて欠かせないものであり、手摘みも含めバックアップ体制を検討していく。

ナイトタイムエコノミーについて

宮崎 与党は2020年東京オリンピックを契機に更なる外国人観光客のインバウンド対策として、夜の経済活性化に向けて今年度中に官民一体のナイトタイムエコノミー



▲基幹産業の更なるバックアップ体制を

推進協議会を設立し、大都市を中心に来年あたり実験を行うという。今後地方にも裾野を広げる予定であるが、色街として栄えた歴史があり、芸者文化、スナック文化等、夜の観光を有効活用できるポテンシャルを秘めているのが市において、魅力的な事業だと思いが如何か。

市長 嬉野の表の観光名所とは違った切り口で、ディープで重要な観光資源と認識している。可能性のある話であり、今後研究していく。

その他の質問
 ・子育て支援、医療センター跡地等について

議会広報編集 特別委員会

議会広報編集特別委員会は、議会に対する市民の理解と認識を深め、開かれた議会の充実に努めるため、年4回の定例議会後に「議会だより」を発行しております。

原稿作成から編集、校正まですべてを議員だけで行い広報紙を発行するのは全国でも珍しく、他自治体からも高い評価を受けています。



▲議会広報編集特別委員会の新メンバー



▲熱心に議会だより編集作業に打ち込む委員

委員長

宮崎 良平

副委員長

芦塚 典子

委員

山下 芳郎

辻 浩一

増田 朝子

山口 虎太郎

諸上 栄大

議会活性化 特別委員会

議会活性化特別委員会は、「議員が変われば議会が変わる」、「議会が変われば行政も変わる」、「行政が変われば嬉野市も変わる」をモットーに開かれた議会を目指し、議会報告会や、議会のインターネット配信、各種会議の傍聴、他自治体より多くの視察対応等、議会改革を着実に進めています。



▲議会活性化特別委員会の新メンバー



▲視察を受け、丁寧に説明する委員

委員長

山口 忠孝

副委員長

川内 聖二

委員

梶原 睦也

山口 政人

森田 明彦

宮崎 一徳

諸井 義人

山口 卓也

平成30年第1回嬉野市議会定例会 会期日程

会期22日間 3月2日～3月23日

日次	月 日	開議時刻	区分	日程
第1日	3月2日	(金)	午前10時	本会議 開会、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、議案一括上程、提案理由説明
			本会議終了後	委員会 議案の詳細説明
第2日	3月3日	(土)		休会
第3日	3月4日	(日)		休会
第4日	3月5日	(月)	午前10時	委員会 常任委員会
第5日	3月6日	(火)	午前10時	委員会 常任委員会
第6日	3月7日	(水)		休会
第7日	3月8日	(木)	午前9時30分	本会議 一般質問(5人)
第8日	3月9日	(金)		休会
第9日	3月10日	(土)		休会
第10日	3月11日	(日)		休会
第11日	3月12日	(月)	午前9時30分	本会議 一般質問(5人)
第12日	3月13日	(火)	午前9時30分	本会議 一般質問(5人)
第13日	3月14日	(水)		休会
第14日	3月15日	(木)	午前10時	本会議 議案質疑
第15日	3月16日	(金)		休会
第16日	3月17日	(土)		休会
第17日	3月18日	(日)		休会
第18日	3月19日	(月)	午前10時	本会議 議案質疑
第19日	3月20日	(火)		休会
第20日	3月21日	(水)		休会 (祝日)
第21日	3月22日	(木)		休会
第22日	3月23日	(金)	午前10時	本会議 討論・採決、閉会

議会ICT化に関する 特別委員会設置

これまで議会でのICT導入に関しては、平成28年2月に議会活性化特別委員会において鳥羽市議会へ、平成29年1月には議会運営委員会において大津市議会に視察などをおこないつながり調査、研究をしてきました。

体制の強化、議会の活性化・議員資質向上などが考えられ、他の自治体でも導入されるようになりました。

今回は嬉野市においても予算面を考えながら、ICTを活用して効果も含め多様な住民の意見の把握、住民への情報提供、議会の効率化等、幅広い分野でどのような取り組みができるのか、嬉

野市議会としての方向性を具体的に調査研究するため、6名の議員で特別委員会を設置しました。

委員長 芦塚典子
副委員長 宮崎良平
委員 山下芳郎、川内聖二、諸井義人、山口卓也

嬉野市第2次総合計画に関する 特別委員会の設置

平成18年に合併し、「歓声が聞こえる嬉野市」を将来像として、平成20年度に「嬉野市総合計画」が10年間の計画で策定されましたが、平成29年度で満了したため、「嬉野市第2次総合計画」が策定されます。

そのために、平成29年度に嬉野市総合計画審議会を設置し、15人の委員

による審議がおこなわれています。審議会は市長の諮問に応じ総合計画に関する調査及び審議をおこなない市長に答申します。

この総合計画は議会の議決が必要となり、議会としてもしっかりと審議し、提言するために「嬉野市第2次総合計画に関する特別委員会」を設置しました。

委員長 山下芳郎
副委員長 梶原睦也
委員 他全議員

人事

副市長に
同意しました



池田 英信氏
塩田町

監査委員に
同意しました



西川 平七氏
嬉野町
森田 明彦氏
嬉野町

人権擁護委員に
同意しました

森 照子氏
塩田町

選挙管理 委員会委員

指名推薦選挙において

次の方々が当選されました。

中島 浩二氏
嬉野町

光武 英文氏
塩田町

佛坂 和子氏
嬉野町

白川 健太郎氏
嬉野町

ときの人

夢はプロ棋士

嬉野小4年（9歳）

樋口 駿君



昨年8月行われた年齢制限もない県アマチュア囲碁最強者決定戦3段大会において、わずか9歳ながら見事優勝を果たした樋口 駿君。

人見知りで、あどけなさが残るも、実質5段以上の実力を持つ駿君の素顔に迫ってみた。

問：囲碁を始めたきっかけは？

父：ここだけの話、駿の祖父が定年退職し、暇な時間を孫と過ごしてもらえればと思っていたところに、たまたま市報での「塩田GO碁教室」募集案内が目に入り、兄と一緒に通わせてみました。最初のライバルは兄ですね。

問：囲碁は面白い？

駿君：うーん、面白い。それより負けたくない。相手が大人でも子供でも関係なく負けたくない。

問：練習はどんな形で？

父：月に2回の「塩田GO碁教室」と月に1回福岡の教室に通わせてます。

駿君：あとインターネットで対戦したり、詰碁の問題を解いたり、プロ棋士の棋譜を見て勉強をしています。

父：学校で宿題をすべてを終わらせ、帰ってきて外に出ず、ずっと囲碁の勉強をしています。良いのか悪いのか分かりませんが。（笑）

問：学校で好きな教科は？

駿君：体育！

問：他には？

駿君：体育！と理科かなー。

議：取材の中で駿君の意外な一面を垣間見たところで、最後の質問。

問：将来の夢は？

駿君：プロ棋士になりたい！ 中学生でプロ棋士になりたい！

問：最後に一言

駿君：学校やコミュニティに囲碁クラブを作ってもらい、囲碁友だちを増やし、もっとたくさんの人と対戦してみたい。



スマホアプリで大敗する委員長

議：取材中、終始礼儀正しく、控え目だった駿君だが、夢を語るときは明確に、力強い眼差しで答えてくれた。彼ならプロ棋士になる夢を叶えてくれそうな気がする。今後更に期待し、応援していきたい。

閉会中の委員会付託案件

付託委員会名	総務企画 常任委員会	文教福祉 常任委員会	産業建設 常任委員会
付託事件名	公有財産等の現地調査について	子育て支援について	所管の公共施設について

コラム

今年1月の改選を終えて、新市長が誕生し市議会も新たなメンバーでスタートした。定数2減の16人態勢で迎えた初議会にこれまで以上の責任感と緊張を覚えた気がした。

市の財政、学校教育防災対策、新幹線駅前づくり、新総合体育館建設、少子高齢化、お茶の振興、米麦等の農業振興、観光振興等、パツと思いつくだけでもたくさん諸問題を抱えているわが市ではあるが、市民の声なき声に耳を傾け、総合的且つ専門的な知識と見識を持ち真摯に一般質問や質疑、決議を行い、解決に向け全力で「愚直」に取り組み、この当たり前の姿勢こそ、私たち地方議会に求められているものではないだろうか。

【事を遂げる者は「愚直」でならねばならぬ】幕末の志士、勝海舟の言葉が、ふと頭をよぎった。

（良平）

議会広報編集特別委員会

委員長	宮崎良平
副委員長	芦塚典子
委員	山下芳郎
〃	辻 浩一
〃	増田朝子
〃	山口虎太郎
〃	諸上栄大